

「絵仏師良秀」現代語訳

次の現代語訳をもとにして、傍線注釈をすること。なお、常用漢字は必ず漢字に直して記すこと。

おしおほひ…「おし」
+ 「おほひ」

①これもいまとなつてはむかしのことだがえぶつしりようしゅうというものがいたそうだ。②いえのとなりからかさいがはつせいしてかぜがおおいかぶさるようふいてひがせまつてきたのでりようしゅうはにげだしておおどおりいでつしまつた。③ひとりがりようしゅうにかかせているほとけもいえのなかにいらつしやつた。④またうわぎもきないつまやこどもなどもそのままでそのままいえのなかにいた。⑤りようしゅうはそんなこともかまわずにただじぶんがにげだしたのをよいことにしておおどおりのむこうがわにたつていた。

⑥みるとひはすでにわがやにもえうつってけむりやほのおがくすぶりだしたころまでりようしゅうはそのあいだほとんどむかいがわにたつてながめていたところ⑦たいへんなことだといつてひとびとがみまいにきたがりようしゅうはすこしもあわてない。⑧どうしたのですか。とひとがいつたところりようしゅうはむかいにたつていえがやけるのをみてしきりにうなづいてときどきわらつた。⑨ああたいへんなもうけものをしてたつておいでなのか。⑩あきれたことだなあ。あやしげなれいがとりつきなさつたかといつたところ

来^きとぶらふ…「來」とぶらひ
+ 「とぶらひ」

⑪どうしてあやしげなれいがとりつくはずがあろうか。(そんなはずはない。)ながねんのあいだふどうみようおうのかえんをへたにえがいてきたことだなあ。⑫いまみるとひといものはこのようにこそもえるものだつたよとさとつたのだ。これこそもうけものよ。⑬ぶつがをえがくことをせんもんとしてせけんをわたるからにはほとけだけでもじようずにえがきもうしあげたらひやくやせんのいえだけきつとたてができるだろ。⑭おまえさんたちこそこれといったさいのうもおもちあわせにならないのでものをおしんだりなさるのだ。といつてあざわらつてたつていた。

⑮そののちであろうかりようしゅうのよじりふどうといつていまにいたるまでひとびとがしようさんしあつている。

⑯で「」を付け
られるところはどこ
か?